



# 第50回全国学童保育指導員学校 西日本

主催 全国学童保育連絡協議会 / 愛知学童保育連絡協議会

## 愛知会場

●日時 2025年6月1日(日)

●形式 **全体会** 9:30 (受付開始 9:00) ~11:30

現地会場もしくは、オンライン配信 (後日配信あり)  
●現地会場：東海市芸術劇場  
愛知県東海市大田町下浜田1016番地 (ユウナル東海内)

**講座** 13:15 (受付開始13:00) ~16:15

現地会場もしくは、Zoomオンライン

●現地：日本福祉大学 東海キャンパス 10 講座

●オンライン：Zoom 8 講座

●受講料 2,500円 (資料代込み)

## 全体会

- 基調報告 愛知学童保育連絡協議会
- 全体講座 テーマ「子どもの権利を保障する社会と学童保育指導員の専門性」

【講師】**谷口由希子**さん

<講師プロフィール>

名古屋市立大学 人間文化研究科 人間の成長と発達分野 (社会と教育) 准教授  
専門は社会福祉学。なかでも児童家庭福祉論で、社会的養護を中心に、貧困・生活困難にある子どもに関わる社会福祉制度や援助実践の研究を行う。また『児童養護施設の子どもの生活過程—子どもたちはなぜ排除状態から脱け出せないのか』など著書も多い。そんな谷口先生に教えを受けるために集まったゼミ生も、子どもの福祉に関して高い意識を抱いている。



■事務局より

●お申し込み・お問い合わせ先●

愛知学童保育連絡協議会

TEL 052-872-1972

Email shidouingakkou@gakudou.org



申込み方法 参加申込みフォームより申込み後、参加者番号と参加費の振込み先 (口座番号など) のお知らせメールが届きます。お振込みの際には、**必ず参加者番号のご記入**をお願いいたします。

- 入金確認をもってお申込みが完了となります。
- 1メールアドレス (アカウント) で複数参加される場合は、人数分のお申込みとお振込みが必要です。
- 午後の講座は定員制、先着順です。

参加申込み

<https://forms.gle/pQ59D5sde1iN1SBp7>

参加申込みフォームはこちら

申込み締め切り **5月15日 (木)**

※振込み完了は 5月17日 (土) までとなります。

※5月16日 (金) 以降のキャンセルは返金できません。



お願い

パンフレットは2, 3日前までにご指定のところへ送付いたします。追加資料は、Zoomでご参加の方にはメールで送付いたします。印刷するなどしてご準備ください。現地参加の方には、当日会場でお渡しいたします。

現地会場

東海市芸術劇場

名鉄名古屋駅から中部国際空港・河和・内海方面の「特急」で約15分。名鉄太田川駅南口徒歩すぐ

日本福祉大学 東海キャンパス

名鉄太田川駅南口から徒歩5分

ご注意

- 現地会場で午後からのZoom分科会への参加はできません。
- 午後からの会場日本福祉大学東海キャンパスは12時からご入室できます。ご昼食は1階の食堂ラウンジがご利用いただけます。参加者用の駐車場はありませんので、大学構内に駐車はできません。



# 第50回全国学童保育指導員学校 西日本愛知会場

## 講座一覧

13:15(受付開始13:00~)~16:15 ※午後の講座は、お1人、1つの受講が可能です。

敬称略

分類	番号	開催方法	テーマ	学習のねらい	定員	講師/助言者	世話人	分類	番号	開催方法	テーマ	学習のねらい	定員	講師/助言者	世話人	報告者	
講義中心の子どもの発達や集団づくりなど基礎的な理論と内容	基礎講座	1	現地	学童保育の役割と指導員の仕事	はたらく保護者の切実な要求からうまれた学童保育。その役割を理解するとともに、子どもに毎日の継続した生活を保障する学童保育指導員の仕事についての基本をまなびます。	40	重木 奈穂美 (石川・指導員)	栗原 美雪 (石川・指導員)	実践講座	10	現地	高学年をふくむ学童保育の生活	高学年は仲間や学童保育指導員など他者とのかわりで「自分らしさ」をつくりあげていく発達段階です。仲間関係、自己表現と対話、あらたな「自分づくり」への試行などから生活主体にそだつための発達課題をよみとり、実践をもとに支援と指導のあり方をまなびあいます。	40	木村 洋太 (金城学院大学)	後久 詔美 (三重・指導員)	三枝 篤季 (三重・指導員)
		2	オンライン	子どもの理解とはたらきかけ	学童保育で生活する子どもの特性をふまえながら、学童期の子どもへの発達に対する理解をふかめ、子どもをとらえる視点をまなびます。	80	田中 一将 (滋賀・指導員)	藤田 さおり (滋賀・指導員)		11	現地	保護者に生活をつたえかんがえあう	学童保育の役割や内容を保護者につたえていくことは大切です。子どもの成長に学童保育の生活がどのようにかわっていくかを、保護者とともにかんがえあう視点をもち、つたえあうことの大切さを実践をもとにまなびあいます。	40	中村 強士 (日本福祉大学)	山口 裕次 (愛知・指導員)	加藤 佑幸 (愛知・指導員)
		3	現地	子どもの権利の観点からみる学童保育の生活	子どもの権利を学童保育でまもることがますます重要になってきています。学童保育の生活でなにを大切にすべきかをかんがえます。	40	谷口 由希子 (名古屋市立大学)	荒川 裕子 (岐阜・指導員)		12	現地	学童保育のあそびとそだち	学童保育での「あそび」の意義や大切さ、「あそび」が子どもたちの成長にどのようにかわっているのか、指導員のはたらきかけの視点を実践をもとにまなびあいます。	40	吉業 研司 (京都橋大学)	宿南 香奈 (京都・指導員)	十倉 裕加里 (京都・指導員)
		4	現地	子どもとつくる安全な生活	学童保育の日常的な生活のなかで、子どもたちの安全をどのように確保するのか。安全のためにつくるルールは、どのようなものが子どもたちにとって最善なのかをまなびます。	40	河村 千里 (愛知・指導員)	川崎 直美 (石川・指導員)		13	現地	しょうがいのある子どもをふくむ生活づくり	しょうがいのある子どもが学童保育指導員や子どもたちとのかわりをどのようにしているのかをまなびあいます。	40	木全 和巳 (日本福祉大学)	元女 由美 (石川・指導員)	中島 美樹 (石川・指導員)
グループワークや実践など実践的な理論と内容	実践講座	5	オンライン	しょうがいのある子どもの理解をふかめるともそだちあう	しょうがいのある子、発達障害のある子どもをどう理解するかをまなび、受け入れ体制や課題、ともにそだちあう生活づくりと学童保育指導員のかわりをまなびます。	80	田村 和宏 (立命館大学)	馬場 妙子 (滋賀・指導員)	14	現地	学童保育カンファレンス	「学童保育カンファレンス」とは何かを理解し、子どもの最善の利益の保障を目指す「学童保育カンファレンス」の進め方を学びます。その中で、日々の実践の記録をもとに子どもの姿を共有し、子どもの見える姿の奥にある発達課題と発達要求(本当は～したいという子どもの心の声)を見出し、子どもに即した働きかけができるように、実際に「学童保育カンファレンス」を実践しながら学びあいます。	40	森崎 照子 (あいち保育研究所)	平子 幸江 (三重・指導員)		
		6	オンライン	子どもの発達をまなぶ	「発達」の概念と子どもの発達の道筋をいねいにまなび、学童期の子どもへのたかな発達を保障するために学童保育実践で大切にしたいことをまなびます。	80	川又 俊則 (鈴鹿大学)	上田 奈々 (三重・指導員)	15	現地	学童保育の生活と集団づくり	ひとりひとりの子どもが安心して一緒にいることができる仲間づくりを実践をとおしてまなびあいます。	40	玉木 博章 (中京大学)	藤井 香苗 (岐阜・指導員)	森 諭美 (岐阜・指導員)	
		7	オンライン	学童保育指導員の専門性と職員間のチームワーク	ひとりひとりが学童保育指導員の専門性をたかめ、情報・方針を共有し、チームワークを発揮して指導にあたることの重要性和方法についてまなびます。	80	天野 佳和 (保育士)	大前 基子 (滋賀・指導員)	16	現地	学童保育と作業療法士の連携	作業療法士の専門領域である、発達しょうがい児支援の視点から、子どもの発達をうながす方法をまなびます。	40	伊藤 美保子 (藤田医科大学)	大山 泰子 (岐阜・指導員)		
		8	オンライン	アレルギーをもつ子どもの理解	食物アレルギーをはじめ、子どもの生活の中では、さまざまなアレルギー反応に注意する必要がありますが、アレルギーをもつ子どもが生活しやすくなるために大人はなにができるのかをまなびます。	80	中西 里映子 (アレルギー支援ネットワーク)	丹羽 まゆみ (愛知・指導員)	17	オンライン	学童保育の防災	南海トラフ地震などの大規模災害への備えや子どもたちを守るための安全計画やマニュアルについてまなびます。	80	桜井 愛子 (神戸大学大学院)	小林 延江 (京都・指導員)		
		9	オンライン	子どもの生活とインターネット	どうして子どもたちはゲームやSNSやHマリンのわかっていきますか？デジタル世界に住む子どもたちの心理やその世界が子どもたちに与える影響を考えながら、大人がどのようににはたらきかけていけばよいかをまなびます。	80	西川 絹恵 (臨床心理士)	山本 大地 (愛知・指導員)	18	オンライン	学童保育と指導員をめぐる情勢と課題	「常動複数配置の補助金創設」「放課後児童対策パッケージ2025」「放課後児童クラブ運営指針の改定」など様々な動きがある中、現状と課題を確かめ、学童保育をよりよくしていくための運動の視点を学びあいましょう。	80	賀屋 哲男 (愛知学童保育連絡協議会)	出射 雅子 (京都学童保育連絡協議会)		

※現地会場の講座は、Zoomでの併用は行いません。すべての講座は定員先着順となりますのでお早めにお申し込みください。各講座では、グループワークを行う場合があります。